

# Message

第 26 号

2018. 12. 21

＝メッセージ＝

島根県立島根中央高等学校  
島根中央高等学校PTA広報委員会

## 「気づく」事の大切さ

PTA副会長 井上豊則



娘が入学して早いもので1年と9か月が経ちました。地

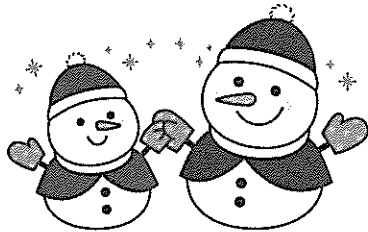
元を少しだけ離れた事によってたくさんの人に出会い、たくさんの感情を身に付けてもらいたいと思います。なぜならば、人は生活の中で必ず他の人と関わらなければならぬからです。例えば一人で行う仕事であっても何かしら必ず他の人とつながっています。

身に付けているもの、食べているもの・・・生活していく上で他人とのつながりは避けられません。ですから、今の社会で大切にされていることはコミュニケーションの力です。

そこで重要な事は『気づく』という事です。言われた事をやってみていくことは簡単ですが、社会に出るとそうはいかないのです。何をしなければいけないか？何を求められているか？そこに気づかなければ質問さえ出来なくて指示があるまで何も出来ない社会人になってしまう。気づくことが出来れば自分から動くことが出来るので、それが『自主性』だと思っています。

『気づく』事を身に付けるには島根中央高校は最適だと思います。なぜならば県内外の多地域から多くの生徒が在籍しているので毎日が刺激的だと思います。

この環境を大切にし、社会に出るときには「すばらしい人間」となってもらいたいです。気づくか気づかないかはあなた次第です！



## 島根中央高校の魅力と地域の力

校長 木原和典



島根中央高校の生徒たちに関して、保護者や地域の方々

からよくありがたい情報をいただきます。「中央高校生は、いつも元氣よく挨拶してくれる。」という声は様々な場で見られます。少し前には「散歩に出かけていた保育園児が急な雨にあつた。近くにいた中央高校生が傘を貸してくれた。」「店先で気分が悪くなったお年寄りがいた。気がついた中央高校生が率先して介助してくれた。」という情報を学校に届けてくださり、大変うれしい思いをしました。また先日は「町で出会った中央高校生の礼儀正しさに感動した。ふるさと納税をさせてもらいます。」という連絡があつたと聞きました。それぞれの生徒たちは本当に立派だつたと思います。

こうした行動は、学校で教わつたからできるよになつたのだとは思いません。家庭でのしつけや周囲の人たちとの日常的な関わりの中で少しずつ学び、社会の一員としての意識

を持つたり、人のためになることへの喜びを経験したりしてきた結果なのではないかと思っています。また、こうした情報を学校に届けてくださることは、保護者や地域の皆さんが温かく子どもたちを見守り、子どもたちの成長に関心を持ってくださっていることの現れだと感じます。そしてこのような環境だからこそ、生徒たちが校内だけではできない成長を見せているのだと思います。

島根中央高校の魅力を言葉で表現することは、大変難しいと感じます。その言葉では表現しきれない魅力の一つが、こうした日々の何気ない生活の積み重ねの中で、人間として成長できる環境があるということなのかもしれません。

島根中央高校はこれからさらに魅力を発揮していく学校だと思っています。その成長を支えるためにも、引き続き生徒たちを温かく見守つていただければ幸いです。

# 女子硬式野球部の創部について

教頭 織部 道雄



平成31年4月に女子硬式野球部を創部します。

本校の女子生徒がここ数年減少傾向にあるため、魅力ある学校づくりの一環として女子生徒の募集について検討する中で、目的意識を持った女子生徒の確保の一つの方法として女子硬式野球部の案が生まれ、島根県内の高校初の女子硬式野球部を創部することにしました。

全国的に女子野球部は競技人口が今後増加していく可能性があり、島根県内にも野球をしている女子中学生がかなり存在しています。今までは高校進学を機に野球を諦めざるを得なかったり、野球部のある県外の学校に進学したりしてきたようです。そのような女子生徒が県内の高校で野球をすることができ環境を設けることは生徒にとっても学校にとっても有意義な取組と考えます。

今年の夏から女子硬式野球部の来年度創部のピーアールを始めるとともに、全日本中学女子軟式野球大会や全国女子硬式野球選手権大会に出かけていくなど、生徒の募集活動を行ってききました。10月13日(土)に開催した第2回オープンスクールでは中学生向けの部活動体験を行い、MSH医療専門学校硬式野球部の野々村聡子監督や環太平洋大学硬式野球部の小島也弥選手に講師として指導していただきました。

現在、来年度の創部に向かって指導体制や練習場所などについて関係者で協議しながら準備を進めているところです。指導体制については、専門的な指導を外部指導者をお願いする予定です。練習場所については、本校も含めた、川本町内の施設を利用する予定です。今後川本町、本校後援会の協力も得て、女子硬式野球部創部に向けた準備を進めていきたいと考えています。

## PTA活動報告

### 第68回全国高等学校PTA連合会大会 佐賀大会に参加して

PTA会長

佐藤 龍美

8月に佐賀県で開催された全国高等学校PTA連合会大会に参加させていただきました。「広めよう高めよう慈しむ心」をテーマに2日間開催され、連日の猛暑の中、全国から9200名が参加し、熱気あふれる大会でした。

開会式は佐賀市総合体育館を主会場に佐賀市文化会館、唐津市文化体育館、鳥栖市民文化会館、嬉野市体育館を副会場に映像配信方式で行われました。基調講演では「レモンさん」

こと山本シユウさんが「昭和の子育ては卒業！気づきを与える存在になろう」と題し、ご自分の体験も交えながら保護者の役割を楽しく熱く語って下さいました。保護者は、子どもの「信頼の五つ星」になろうという事で、①「この人は世界

自分のことを分かってくれてる」という理解者、②「応援してくれてる」という応援者、③「信じてくれてる」という信者、④「認めてくれてる」という承認者、⑤「気づかせてくれてる」という指導者という役割を

果たしながら、子どもたちに色々な生き方のメニューを並べてあげて欲しいと話されました。ただし、選び決定していくのは子ども自身であり、保護者は見守らないといけません。

しかし、一昔前の昭和のICチップが埋め込まれている保護者世代は、「見守る」ということが一番難しく、自分が絶対に正しいと思いつい、何でもアドバイスしようとしたり、すぐに人と比べたりするなどの傾向になりがちです。自分がそうであると気づいたら「信頼の五つ星」を思い出し、コミュニケーションの取り方を学ばなければならぬと思います。そして、人に言われて動く「ラジコン人間」から自分で考えて動く「自走式人間」になるよう、教えるのではなく「気づかせる」怒るのではなく「考えさせる」押しつけるのではなく「自信をつける」事が大切だということ学びました。

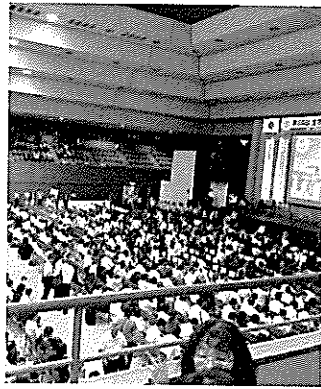
分科会は、第一分科会「学校教育とPTA」地域の将来を担う人材の育成とPTA活動」に参加させていただきました。

各学校とも地域と学校が協働して人材育成と地域振興を図る取り組みが発表されましたが、島根中央高校でも、学校の魅力化に向けて地域の置かれた環境に対応した活動を続けていかなければいけないと

感じました。2020年にはこの全国大会が島根県で開催されます。PTAの皆様にもご協力をお願いいたします。



## 佐賀大会



石見を盛り上げよう！保護者と教職員と企業と行政と... 四者フォーラムに参加して

1年生 保護者

上田 梨紗

11月22日に大田市で開催された「石見を盛り上げよう！保護者と教職員と企業と行政と：四者フォーラム」に参加させていただきました。

第一部では、島根県立遼摩高等学校と株式会社石見銀山生活文化研究所の取り組みにつ

いて発表があり、若者が地域への愛着と誇りを持ち、将来、地域に貢献しようとする志を持つよう、一地域の人間として働きかけることについて考えさせられました。

第二部では、「なぜ石見の若者は県外に行きたがるのか?」「若者が活躍する地域作りのために、何が出来る?何をしたらいい?」をテーマにグループごとに語り合いました。まずは若者について知ることから始め、若者が都会に埋もれて自分を見失うことがないように、自己重要感を身につけるために、四者がそれぞれ立場で若者について考えました。お金ではなく時間の投資をすること、保護者・教職員・企業・行政の四者が一体となつてつなぐことが大切であり、すべては「人と人とのつながり」から始まるということを再認識しました。四者フォーラムをおして、新しい視点で色々なことを学ぶことが出来ました。人と人とのつながりが合つてこそ若者を支援することが出来る。島根中央高校のPTAの在り方そのものであると感じました。

## 「学園祭バザーに参加して」

1年生 保護者  
松本 聖子

今年の4月から息子がしまね留学でお世話になっております。カヌー部に所属しておりますが、カヌー部の保護者会の地元の方々が練習や大会、学校行事の様子などをグループラインで送つて下さるお蔭で、離れていても安心し、皆様の温かい心にも感謝しています。

学園祭バザーで、お世話になつていて保護者の皆様にお会い出来、少しでもお役に立てたらとお手伝いに参加させていただきました。

バザー前日は、午後6時に集合し、焼きそばに入れる野菜を切る作業をしました。初めてお会いする方ばかりでしたのに温かく迎えてくださり、前からの知り合いのような感じがしました。地元のお母さん方と野菜を切りながらお喋りしている間にも、おにぎり用のお米を洗つたり、皆さん手際よく、1時間ほどで準備が終わりました。

当日は、9時集合。おにぎりを作り終えると、テントに設置された鉄板の上でお父さん方が手際よく次々に焼きそばを焼いていれます。同時にフランクフルトも焼いていきました。焼きそばは、役割分担が自然と出来、段取り良く進んでいきました。ポリユームのある美味しそうな焼きそばを生徒の皆さんは、早く食べたそうでしたが、開始時間まで待つていてくれました。私は、ここで寮生の保護者会

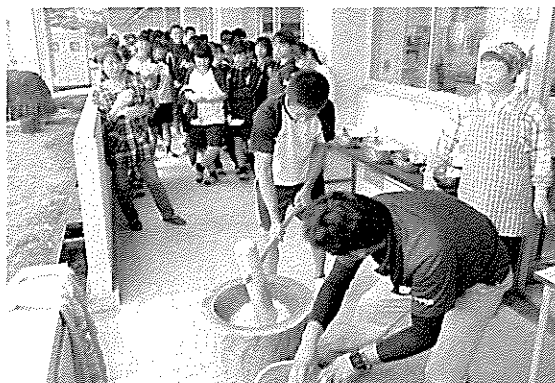
## 「もちつき」

1年生 保護者  
井上 理恵

昨年は餅つきが無かったので今年、初めて参加させていただきました。毎年、この餅つきをお世話していただいている岡田さんに教えて頂きながら進めて行きました。

学校で食べる用のお餅は4種類の味があり、持ち帰り用のお餅も4種類作るということで「間に合うのかな?」と、ちょっと心配でしたがベテランの岡田さんの指揮のもと、時間内に作り終えることができて安心しました。

作っている間は保護者の方と色んな話をしたり、交替で球技大会も見に行かせてもらうことができました。この餅つきに参



前年度繰越金	157,823	
バザー収益金	32,162	
バザー用品購入	-10,000	
島根中央高校生徒会へ	-20,000	
預金利息		
繰越金	159,985	通帳残金

# 地元の夏祭りパトロールに参加して

生活指導委員会 委員長  
横 宮 隆 幸

美郷町、川本町の夏祭りパトロールは、PTA生活指導委員会の年間行事活動として毎年実施しております。今年は美郷町と川本町の夏祭り7月28日(土)に開催されました。

この活動は、夏祭りという地域行事に子どもたちが楽しく参加できるように、PTAとして支援し、見守ることを目的に行っています。

当日は、委員会の保護者、校長先生をはじめ教職員の参加で、島根中央高校のぼり旗を持ち、会場内を一周しました。

パトロール中、島根中央高校の生徒や卒業生のきもちよいあいさつ、保護者の皆様からの「よろしくおねがいします」、地域のみなさまより「お疲れ様です」の声をかけをいただいたことが印象に残っています。

当日、ご協力頂いた保護者と教職員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございます。この取組みは、子どもたちが毎年、楽しく夏祭りに参加できるように必要な活動であると思います。継続的な活動をお願いいたします。



# 地区PTA

関西地区PTAに参加して

3年生保護者  
江原 保恵

9月29日、学校・役場・PTA関係者・関西地区の保護者が参加し、大阪で地区PTAが開催されました。

先生からの挨拶に始まり、学校の様子などのお話を聞かせて頂いていたようです。関西の地区評議員をさせて頂きながら時間を勘違いし遅刻した私を待っていただき、楽しみにしている「ビデオレター」上映をしていただきました。

1年生は「友達も出来、学校生活に馴染んで安心させようとするコメント」

2年生は「少し余裕が出来て、頑張っている自分をアピール」

3年生は「高校生活を終盤に迎える中で、感謝の気持ちと今後立派に成長していく抱負」

面と向かつては、なかなか言ってもらえない気持ちをビデオレターを通じて聞き、見させていたただくのは、とても有難く、楽しみにさせて頂いています。

その後、意見交流をさせて

もらう中、昨年意見をさせて頂いた事をすぐに実行して頂き感謝してはいますが、改善の余地もまだあるとの事でした。今年は遠方の親だからこそその苦勞を伝えさせて頂き、今後の改善に繋げて頂きたい事、3年生の進路に対しての不安やお願ひもたくさん話させて頂きました。

先生方、役場の方、たくさん保護者が集まって話が出来る「交流会」は本当にありがたいと思います。

交流会後には、先生たちと保護者が集まり、もっと親しみがわく「食事会」も行い、子どもの様子、先生方の愉快なお話も聞け、関西地区の保護者の横の繋がりも広がる素敵な一日になりました。

まだまだ 浸透していない地区PTAですが、たくさんの保護者が集まり、話が出る素敵な場になってほしいです。

## 関東地区PTAに参加して

2年生保護者  
橋本 百合

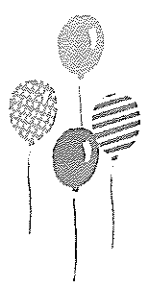
島根中央高校に息子が入学し、早いもので高校生活の半分の時が過ぎました。

子どもを送り出した親は、離れている分どうしているのだろう、こんな時はどうした

ら良いのだろうかと思ったり、心配したり…。そんな時頼りになるのが先生方やコーディネーターさん、地域の方々等、子どもたちに関わって下さっている沢山の方々です。いつもありがとうございます。

地区PTAに参加することで、子どもの学年や所属クラブの異なる親同士の繋がりも生まれ、話に花が咲き、時が経つのを忘れてしまう程でした。ビデオレターでは、それぞれの子ども達が学校生活を通じ、様々な人との出会いや貴重な経験をさせて頂き、青春を謳歌していること、生き生きと目標を持って頑張っているのだなあと感じられる表情や話ぶりに感動し、笑いあり、涙あり、心温まる時間を過ごさせて頂きました。

日頃、様々な場面で子ども達を支え、優しく、時には厳しく関わって下さっている皆様への感謝の気持ちと、遠く離れていても少しでもお手伝いさせて頂きたいという思いから、参加させて頂いており、参加出来なかった方々も、折角の交流の場ですから、どんどん参加して楽しみながら島中の輪を広げていきましよう！



# 全国大会に参加して

写真部

2年1組 田中 柚葉

私は、幼い頃から写真を撮ることが好きでしたが、まさか自分が全国高等学校総合文化祭に出場するなんて思ってもいませんでした。入部したての頃は、一眼レフの使い方をよく理解していませんでしたが、ただただ夢中になって自分の撮りたいものを撮りたいように、好きなだけ撮っていました。

西部のコンクールで特選に選ばれた時、島根県のコンクールで2席に選ばれた時は、嬉しくて走って家に帰り、家族に報告したことを今でも覚えていてます。

全国高等学校総合文化祭では、私にはないアイデアや撮影の仕方などが多くあり、どの作品もレベルが高く刺激を受けました。また、交流会や撮影会などを通じてたくさん写真部員の人と交流することができ、とても良い機会になったと思っています。

応援してください。皆さんや指導してください。先生、モデルになつてくれた母には感謝しています。本当にありがとうございます。

これからも私なりの作品を作り上げ、写真とカメラを楽しく得意こうと思いま



写真部保護者

田中 浩二

「全国大会に行けることになった！」

突然の話で家族全員びっくりしたり、喜んだりしましたが、本当に嬉しそうに伝えてくれる娘を見ながら私は昔の事を思い出していました。

小さい頃、親の私がカメラを向けると飛ぶかしがりがつぼを向くのに、自分が撮る時は何度も何度も楽しそうにシャッターを押していました。家族にポーズをとるように言ったり構図を考えて撮ったりと、今思えば小さい頃から写真を撮ることが好きだったのだなと思います。

専門的な事は何も分からず始めた写真部の活動ですが、今年度、全国高等学校総合文化祭に参加する事が出来ました。

出発する当日までは緊張していた様子でしたが、初めて行く土地初めて出会う全国の写真部の方や作品、指導者の方にたくさんさんの刺激を受けた様でした。帰って来た時には疲れた様子ではありましたが、写真に対する情熱や考え、取り組み方等、技術的にも精神的にも大きく成長した様に思います。

「好きこそ物の上手なれ」写真とは何歳になっても撮ることができ、又楽しめるものであると思います。指導して頂いた先生方や部員の皆様に感謝すると共に、これからは小さい頃の写真に対するワクワク感を忘れず、一生懸命取り組んでいって欲しいと思います。

カヌー部

三年間を振り返って

3年1組 瀬上 一樹

私はカヌーを行う前は自分自身がどこまでいけるのか、全国で勝つのはどれほど難しいかなど知りませんでした。それを知りたいという好奇心からカヌー部に入部しました。

二年での愛媛国体でのペアの500m7位入賞、今年のインターハイではフォアの2000m7位、福井国体ペア2000m8位入賞することができました。始めてから三年でこのような結果を残すことができたことは入部前の自分は考えていなかったと思います。このような結果を出すことができたのは自分の力ではないと思っています。

私の周りにはたくさんさんのひとがいてくれました。顧問の堀田先生は未熟な自分にカヌーの技術だけでなく人として必要な精神を教えてくださいました。堀田先生の間性を大切にされた指導は本当に自分自身の糧となりました。

先輩、後輩たちとはたくさんさんの思い出があります。先輩からは色々なことを教えてもらったり引退してからも応援してくださいました。後輩には自分が入賞すること、何かを残してあげたいという気持ちにしてくださいました。そして、ペアとしてたくさんレースを

乗り越えた小畑君や共に過酷な練習をし励まし合い頑張った松岡君もいます。他にも応援してください。保護者、地域の方々がおられます。そのような人たちがいたからこそ私は全国で戦うことができた。全国大会で私はたくさんさんの人々への感謝を学ぶことができた。これからもそのことを忘れずにがんばります。



カヌー部保護者

瀬上 克司

今年毎日厳しい練習をこなして臨む最後の大会なので、昨年以上の成績になるだろうと自分勝手に期待を抱いていましたが、現実には厳しくなかなか上位に上がれません。並々ならぬ努力をした選手が競う大会であることを改めて感じました。そのような状況でしたが、名将堀田先生のもとインターハイではフォア7位、国体ではペア8位と入賞することができ、今年もカヌー部は全国大会で結果を残すことが出来ました。

ここに至るまでは、決して個人の努力だけでは達成することはできなかつたと思います。我が子とはにかく人との出会いに恵まれていました。同級生は3名しかいま

せんでしたが、共に切磋琢磨できる仲間であり、先輩、後輩、県外の選手からも常に刺激を受けていたと思います。そして堀田先生と出会ったことで競技に取り組む姿勢が劇的に変化しました。カヌーは水上トレーニングだけでなく筋力が欠かせない競技で、体つきが徐々に凛々しくなりました。本人が言うには残念ながら漕ぎのセンスが無かつたため、とにかく筋トレに励み、根性で勝負しようですが、地道な日々の積み重ねが結果に繋がったことが、これからの人生の励みになると思います。

「意志あるところに道は開ける」どんなに困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開けるといふ、カヌー部の誰もが信じる希望と勇気の湧く言葉を実践した生徒達。そしてそれに続くカヌー部の今後の活躍が楽しみです。ありがとうございます。頑張れ島根中央高校カヌー部！





# 大会結果等報告

## 硬式野球部

〔全国高等学校野球選手権島根大会〕(7月)

1回戦

島根中央 5―4 益田翔陽

2回戦

島根中央 5―0 出雲工業

3回戦

島根中央 13―2 松江西

準々決勝

島根中央 6―8 立正大湊南

〔平成30年度 島根県高等学校秋季野球大会〕(9月)

島根中央 3―2 石見智翠館

島根中央 7―4 大東

島根中央 3―6 矢上

## カヌー部

〔平成30年度全国高等学校総合体育大会カヌースプリント競技〕(8月)

男子カヤックシングル 500m

小畑 陽一 準決勝7位

男子カヤックシングル 2000m

小畑 陽一 準決勝4位

男子カヤックペア 5000m

小畑陽一・瀬上一樹

準決勝5位

男子カヤックペア 2000m

小畑陽一・瀬上一樹

準決勝4位

男子カヤックフォア 5000m

小畑・瀬上・中島・平田

準決勝3位

男子カヤックフォア 2000m

小畑・瀬上・中島・平田

決勝7位

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

〔文部科学大臣杯 平成30年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会〕(8月)

カヤックフォア 5000m

瀬上・小畑・中野・平田

カヤックフォア 2000m

瀬上・小畑・中島・平田

〔島根県高等学校新人大会〕(9月)

男子カヤックシングル 5000m

第1位 平田 修希

第2位 中島 遼祐

第3位 廣中 大飛

男子カヤックシングル 2000m

第1位 中野 湧太

第2位 平田 修希

第3位 佐藤 碧紀

男子カナディアンシングル 5000m

第4位 橋本 春彦

男子カナディアンシングル 2000m

第3位 橋本 春彦

女子カヤックシングル 2000m

第2位 高橋 優花

女子カヤックシングル 5000m

第2位 高橋 優花

〔第73回国民体育大会(福井国体)カヌースプリント競技〕(9月)

少年男子カヤックシングル 5000m

少年男子カヤックシングル 2000m

準決勝7位 平田 修希

少年男子カヤックペア 5000m

準決勝4位 瀬上・小畑

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

少年男子カヤックペア 2000m

少年男子カヤックペア 5000m

決勝8位 瀬上・小畑

〔第5回中国高等学校新人カヌースプリント選手権大会〕(10月)

男子カナディアンシングル

第6位 橋本 春彦

男子カヤックシングル 5000m

第1位 平田 修希

第3位 中野 湧太

第4位 中島 遼祐

第5位 中嶋 唱

男子カヤックペア 5000m

第1位 中野・中島

第2位 佐藤・廣中

第3位 中嶋・中田

女子カヤックシングル 5000m

第4位 高橋 優花

女子カヤックペア 5000m

第5位 藤田・渡邊

陸上競技部

〔中国高等学校新人陸上競技選手権大会(10月)〕

男子5000m競歩

9位 安部 暖人

女子5000m競歩

10位 横手 愛

剣道部

〔島根県高等学校剣道選手権大会(10月)〕

女子個人戦

木村×―〇松江東

井上×―〇益田東

男子個人戦

渡邊×―〇松江高専

小山×―〇飯南

バレーボール部

〔島根県高等学校バレーボール選手権大会〕(11月)

島根中央 2―1 遼摩

島根中央 0―2 情報科学

ベスト16

ソフトテニス部

〔島根県高等学校ソフトテニス選手権大会〕(9月)

男子個人戦

1回戦

湯浅・澤津 0―3 松江工

女子個人戦

1回戦

安東・森 2―4 三刀屋

堀・植田 1―4 益田

佐々木・柿田 1―4 浜田商

〔島根県高等学校ソフトテニス新人戦〕(10月)

女子個人戦

3回戦

安東・植田 0―4 浜田

女子団体戦

1回戦

島根中央 2―1 益田

2回戦

島根中央 1―2 大田

バスケットボール部

〔島根県高等学校バスケットボール選手権大会〕(11月)

男子

1回戦 島根中央 67―60 安来

2回戦 島根中央 66―132 松江西

女子

1回戦 島根中央 25―136 隠岐

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞

吹奏楽部

〔全日本吹奏楽コンクール島根県大会〕(8月)

高等学校Aの部 金賞



編集後記

連日の猛暑の中、迎えた2学期。学園祭、球技大会と、一つずつ行事を終えるごとに、秋の深まりを感じるようになりました。今学期のPTA活動は文化祭のバザーがありました。県内はもとより、遠方の保護者の方々にもお手伝いいただき、楽しく活動することができました。また、2年ぶりの餅つきがあり、こちらも多くの保護者の方々にお手伝いいただきました。つきたてのお餅はとっても美味しく、生徒達の食欲にびっくりさせられました。最後になりましたが、今回寄稿していただきました皆様、お忙しい中ありがとうございました。間もなく冬本番。風邪などに気をつけて、元気にお過ごしください。それでは、よいお年を。